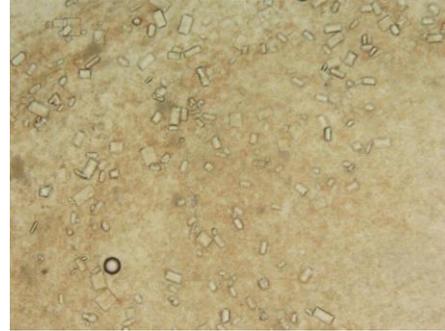


猫ちゃんの尿石症とは

尿中の余剰ミネラルが結晶化し、それを中心にさらにミネラルが沈着することで段々に大きな石を形成していきます。場合によっては命に関わる恐ろしい疾患です。

《主な原因》

- 食事中のミネラルバランスの不均衡
- 飲水量の減少による尿の濃縮
- 遺伝的素因(尿石症になりやすい品種や体質)
- 食事の給与方法(1日1回の食事は原因になりやすい)



↑ ストラバイト結晶の顕微鏡画像

《症状》

石や結晶が膀胱粘膜を傷つけることで血尿や頻尿を引き起こします。男の子では小さい石が尿道を通過しきれず、**尿道閉塞を起こすと急激に状態が悪くなり、命に関わる場合があります。**女の子では尿道が太いため閉塞を起こすことは非常に稀です。

《治療》

■ 食事療法

ストラバイト(リン酸アンモニウムマグネシウム)尿石の場合は食事療法で溶解が見込めます。猫ちゃんでは尿石症のほとんどがストラバイトによるものなので、最も選択される治療法です。尿石の種類や本人の体質・年齢などによって適切なフードを選択し、定期的に尿検査や画像検査を受けて都度フードを検討する必要があります。また、定期的に腎機能・心機能を確認する場合があります。

■ 水分摂取の促進

水分摂取が不十分だと尿が濃くなり、ミネラルの密度が増すことで尿石が出来やすくなります。猫ちゃんは元から少量の水で生活し、濃いおしっこを作る習性・体質のため尿石が出来やすい状態にあります。飲み水にちゅ〜るなどでおいしい風味を付けたり、水飲み場を増やすなどの工夫で水分摂取量を増やし、尿を希釈することで尿石を出来にくくします。

■ ミネラルバランス

食事療法をしても、余分なミネラルを摂取していると尿石症の原因になります。おやつ、サプリメントなどに注意しましょう。特に小魚類は避けましょう。

■ 会陰尿道造瘻術

尿道閉塞を繰り返す子では、尿道を太くするための手術が必要になります。

《こんな時はすぐに病院に連絡！》

- ✓ 排尿姿勢をとるがおしっこが全く出ていない。
- ✓ 丸一日排尿が見られない。
- ✓ 排尿時に痛がって鳴く。

尿道閉塞では「ちょっと様子を見ていた」だけで生命が脅かされます。急性腎不全や高カリウム血症を併発し、急死する恐れもあります。